

このひとをじっくり探してみますか？

第9回

野口源三郎 のぐち げんざぶろう
(明治21年～昭和42年)



▲肖像写真
(野口源三郎遺稿集より)

野口源三郎は、明治二十一年(一八八八)年八月二十四日、榛沢郡横瀬村(現在の深谷市横瀬)に生まれ、翌年母を亡くし、源三郎が三歳の時、榛沢郡岡部村大字宿根(現在の深谷市宿根)にある母方の親戚の養子となりました。

野口源三郎は、明治二十一年(一八八八)年八月二十四日、榛沢郡横瀬村(現在の深谷市横瀬)に生まれ、翌年母を亡くし、源三郎が三歳の時、榛沢郡岡部村大字宿根(現在の深谷市宿根)にある母方の親戚の養子となりました。

大正九(一九二〇)年、第七回アントワープオリンピック大会に十種競技選手兼主将として参加、入場式では旗手を務め、埼玉県初のオリンピック選手となりました。結果は、十二位と及びませんでした。だが、この機会に欧米のスポーツ界を視察し、世界的視野から高い水準の知識と技能を日本にもたらしました。また、陸上競技のヘッドコーチとして手腕をふるう傍ら、多数の研究成果を発表し、現在の学校体育の基盤を作り上げました。



▲埼玉大学にある胸像
(野口源三郎遺稿集より)

昭和八(一九三三)年、源三郎は、これまでの功績が認められ、日本陸上連盟から第一号の『功労章』を授与されました。また昭和三十五(一九六〇)年、政府は永年にわたる日本の体育振興に貢献した功勞に対し、『紫綬褒章』を授与、昭和

用語の手引き

『嘉納治五郎』

日本古来の柔術を再編し、講道館柔道(現在の『柔道』)を創設。東京高等師範学校の校長を永く務め、教育改革や日本の学校教育の充実、体育・スポーツの発展、そしてオリンピック・ムーブメントの推進に尽力した。

※本コーナーの全編を通じて、登場する人物については、歴史上の人物としてその敬称を略します。また、年齢については、当時の通例に従い数え年の表記とします。

市長の深い話

深谷市長 小島 進



今年を振り返って

早いもので、今年も残すところあと1カ月。2015年も振り返ってみるといろいろなることがありました。

まず、世界に目を向けると、9月に行われたラグビーワールドカップイングランド大会において、日本代表が南アフリカを破る大金星を挙げるなど大活躍し、とても胸が熱くなりました。また、10月には2人の日本人がノーベル賞を受賞し、中でも物理学賞を受賞した梶田博士は東松山市の出身ということ、埼玉県民として大変誇らしく思いました。

そして市では、今年誕生10周年記念の年として、さまざまな事業やイベントを行いました。10月25日には、深谷市民大運動会を開催、11月22日には第43回深谷市民音楽祭で、市民の皆さんとともに作った『深谷市歌』を披露することができました。どちらも多く市民の皆さんに参加いただき、これまで以上に市全体の一体感が高まったように感じています。さらに、10月31日・11月1日には、産業祭と併せて、全国ゆりサミットを開催し、雪害からの復興を大いにアピールすることができました。

そして、忘れはならないのが、市イメージキャラクター『ぶっかちゃん』です。今年最後のゆるキャラグランプリ挑戦と決め、グランプリを目指して頑張りました。ぶっかちゃんと市民の皆さんが一体で目標に向かう姿に深谷の底力を感じることができました。ぶっかちゃんを応援していただいた方々に感謝しております。2016年は今年以上に良い年にしていくよう頑張っていきますので、皆さんからのご声援をお願いします。そして、市民の皆さんもよいお年をお迎えください。また、どうぞ、お祈りいたします。

ありがとうの手紙



優秀賞
小学校高学年の部
川そうじのおじさんへ

上柴西小学校6年(現上柴中学校1年) 梶原 慧 さん

おじさん、いつも川のそうじ、ご苦労様です。おじさんにとって、川のそうじは、仕事でも頼まれたわけでもなく、自分がただ川をきれいにしたいという思いでやっています。そんなおじさんのことを、ぼくはとてもかっこいいなと思います。

ぼくがよく学校帰りに話しかけると、いつも笑顔で返してくれます。暑い日も寒い日もとても大変そうですが、がんばって下さい。そして、ここには書ききれないほどの『ありがとう』。

みんなの声BOX

Q 先日、マイナンバーの通知が届きましたが、どのように管理すればよいのでしょうか？

A 届いた通知カード(マイナンバー)は、大切に保管してください。

紛失時の再発行には手数料が掛かりますので、ご注意ください。

なお、公共機関から電話でマイナンバーをお聞きすることはありません。

また、制度に便乗した勧誘、金銭請求、詐欺などの電話や訪問が発生していますので、十分ご注意ください。

問い合わせ 市民課 ☎574-6640